



**金井小学校6年生が赤ちゃんとのふれあいを通して「いのち」を学びます
～実際の赤ちゃんや保護者との交流を通して、いのちの尊さやつながりを考える～**

金井小学校では、6年生を対象に「赤ちゃん登校日」を実施します。近年は少子化や核家族化が進み、乳児と接する機会が少ないまま成長する子どもも増えています。本事業では、実際の赤ちゃんや保護者との交流を通して、児童が生まれてきた喜びやいのちの尊さを感じ、いのちのつながりについて考える機会とします。

当日は、医師による講話の後、6年生児童がグループに分かれ、赤ちゃんや保護者と直接ふれあいます。抱っこや会話を通して、赤ちゃんの成長や子育てへの理解を深めるとともに、自分自身が多くの人に支えられて成長してきたことを振り返ります。

記

【日時】 令和8年6月 18日(木) 午前 10時 35分～11時 20分

【会場】 金井小学校 会議室

【対象】 金井小学校6年生 56名

【内容】 1 オリエンテーション

2 講話「人の成長・赤ちゃんの力について」

・講師 佐渡総合病院 岡崎 実 医師

3 赤ちゃんとのふれあいタイム

・赤ちゃんとその保護者を迎え、グループに分かれて交流

4 感想発表

【その他】 佐渡市子ども若者相談センターとの合同授業です。

本件についての問い合わせ先

佐渡市立金井小学校

教頭 松田

TEL:0259-63-4115

